


提出 順番	No. 4	令和元年 6月 3日 午前・ 午後 4時 40分受領
----------	----------	--

令和元年6月3日

幕別町議会議長 寺 林 俊 幸 様

幕別町議会議員 小 田 新 紀 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 子どもの権利条例 について	<p>2010年、幕別町議会では「幕別町子どもの権利に関する条例」が、全議員の賛成により可決され、同年7月1日施行されました。これは、学校教育だけではなく、地域全体で子どもたちの権利を保障するとともに、子どもたちの豊かな成長への環境整備を進めていくことを目指すもので、全国的にもまだまだ事例は少なく、町外、道外の関係者も注目する先進的な条例であります。</p> <p>特に、学校教育においては、本条例制定の基になった「児童の権利に関する条約」の理念に基づき全町をあげて推進してきました。本町の児童生徒たちは他市町村と比べても素直で感性豊か、そして、主体的な学校生活を送ることができている子が多く、条例制定への経緯に関わった関係者の想いが成就してきていると感じています。</p> <p>しかしながら、条例制定から10年近くが経ち、教職員や職員の異動、そして社会情勢の変化などがありました。あらためて、本条例の意義を、全町あげて確認し合い、またこれまで以上にその理念の実現に向けた取組が必要であると考え、次の2点について伺います。</p> <p>(1) 本条例について、地域や学校現場において、あらためて学ぶ機会の創出を図る考えは。</p>

<p>2 教育長と一般教職員との情報交換の場を</p>	<p>(2) 本町が目指す小中一貫教育ならびにコミュニティ・スクールにおいて、大きな柱としてのテーマにする考えは。</p> <p>近年、幕別町の小中学校の教育において、教育委員会主導により、これまでの方向性とは異なるような新たな制度の導入がいくつか実施されてきています。</p> <p>教育委員会では、校長会議や教頭会議をはじめとして、これまでも、学校現場の声を聴く場を設けてきたことは承知しています。しかしながら、時代の流れとともに、多種・多様化する教育課題を的確に解決していくためには、一般教職員と教育委員会の想いを共有し、子どもたちを真ん中に、一体となって豊かな学校教育を創り出していかなければならないと考え、次の2点について伺います。</p> <p>(1) 学校現場の声を聴く機会の在り方として、現状と課題は。</p> <p>(2) 教育長自らが、一般教職員と、直接、情報交換をするなど、想いを共有できる場を創出する考えは。</p>
-----------------------------	--